

令和5年度 日南市立大堂津小学校 自己評価書

学校経営ビジョン：自ら考え、心豊かで、たくましい大堂津っ子の育成 「ひとみかがやく心優しい大堂津っ子」

重点目標	評価項目		平均					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	教師	平均	総合		
確かな学力の定着と向上	①	学校は、ICT等を活用しながら分かりやすい授業に努め、児童の学力向上に取り組んでいる。	3.8	3.4	3.4	3.6	3.5	<p>本項目の総合判定は4点満点中3.5点という結果であった。</p> <p>①の項目においては、児童の評価が3.8点と高いことからタブレットを活用した授業が浸透しており、ある程度使いこなすことができる児童が増加した結果だと思われる。</p> <p>②の項目においては、教師の評価が3.3点ということから、授業の中で話し合い活動を重視した指導が浸透してきたことが分かる。一方で、教師の多くは、話し合い活動の効果的な指導法について模索中であり、今後も研修や授業研究会を通して、個々の指導力の向上を図っていきたい。</p>	<p>複式解消を図りながら少人数指導を充実させることができ、子どもたちの学力向上へつながっている。</p> <p>タブレット等を授業に積極的に取り入れており、そのようなICTの効果的な活用が子どもたちの学習意欲の向上につながっている。</p>
	②	学校は、個別指導や話し合い活動等を取り入れ、児童一人一人を大切に授業に取り組んでいる。	3.6	3.3	3.3	3.5			
心の教育の充実	③	学校は、命を大切に教育や人権教育、異学年交流を通して、思いやりの心の育成に努めている。	3.8	3.4	3.3	3.6	3.5	<p>本項目の総合判定は4点満点中3.5点という結果であった。</p> <p>③の項目については、児童の評価が3.8点と高いことから異学年交流の中で、よりよい関係性が構築されていることが分かる。特に今年度は、昼休みに高学年を中心に全校児童で遊ぶ姿がよく見られ、豊かな心を育む貴重な時間となっている。</p> <p>④の項目については、児童の評価に対して、保護者の評価が若干低めになっていることから、家庭や地域での基本的な生活習慣の確立が今一歩であると思われる。地域の方々からは、あいさつに対する称賛の言葉を聞く機会が増えているため、言葉遣い・片付けに関しても、懇談会で話題にする等、家庭と連携を図りながら指導を継続していきたい。</p> <p>⑤の項目については、保護者の評価が若干低めになっていることから、今後は、学校の取組や児童の学校での様子について、学級通信等を活用して積極的に情報発信を行い、保護者の理解が得られるように努めていきたい。</p>	<p>以前に比べると、子どもたちの地域でのあいさつが良くなっていることが顕著である。これからも、子どもたちの生涯の土台を形成するためにも、道徳教育に力を注いでいきたい。</p> <p>児童のあいさつをはじめとした基本的な生活習慣を定着させていくためにも、周囲にいる大人が率先してあいさつ等の基本的な生活習慣を意識して行動していく必要があると思う。</p>
	④	学校は、「あいさつ・言葉遣い・片付け」等の基本的な生活習慣の定着に努めている。	3.6	3.3	3.4	3.5			
	⑤	学校は、教育相談や家庭との連携を行いながら、いじめや悩み等の早期発見、早期対応に努めている。	3.8	3.2	3.5	3.5			
体力の向上及び健康・安全、食育の充実	⑥	学校は、体育の授業や「体力向上タイム」「体育に関する行事」等を通して、体力向上に努めている。	3.7	3.4	3.0	3.5	3.6	<p>本項目の総合判定は4点満点中3.6点という結果であった。</p> <p>⑥の項目については、教師の評価が3.0点と若干低いことから児童の体力向上に関する取組に改善の余地があることが分かる。熱中症や感染症対策等、活動が制限される機会が増えているため、教育課程を工夫しながら体力向上の手立てを講じていきたい。</p> <p>⑦の項目については、評価者全てが同等の評価をしており、養護教諭を中心に行っている個別面談や各種便りの発信等、健康的な生活習慣の定着に向けた取組が一定の評価を得ていると思われる。</p> <p>⑧の項目については、評価者全ての評価が3.7点以上と高い評価になっている。各種避難訓練の実施や防災ヘルメットの整備等を通して、児童・職員一人一人の防災意識を高めることができた成果だと思われる。</p>	<p>防災教育の取組に関して評価することができ、今後も抜き打ち訓練等を継続して行っていただきたい。また、昨年、自治会では避難所の点検・見直しを行っている。子どもたちや家庭にこのような取組を紹介していただき、防災意識の向上につなげていただきたい。</p> <p>全校児童が仲良く昼休みに交流しており、小規模校ならではのメリットを感じる。一方で、家庭では、体力を必要としないゲームや動画視聴などを趣味とする子どもたちが増加しており、体力低下が懸念される。そのような家庭での実態を把握していただくとともに、懇談会や学校保健員会で話題に挙げていただき課題を共有して欲しい。</p>
	⑦	学校は、健康指導や食育指導を通して、健康的な生活習慣の定着に努めている。	3.4	3.4	3.5	3.4			
	⑧	学校は、避難訓練や防災参観日等を通して、防災意識の向上及び危機回避能力の育成に努めている。	3.8	3.7	3.7	3.8			
地域や家庭とともにある学校運営の充実	⑨	学校は、地域人材を活用した活動やPTAと連携した活動に取り組みながら、「地域とともにある学校づくり」に努めている。	3.9	3.4	3.6	3.6	3.6	<p>本項目の総合判定は4点満点中3.6点という結果であった。</p> <p>⑨の項目については、児童の評価が3.9点と高いことから、「生活科」や「総合的な学習の時間」に行った校外活動や地域の方々との交流が郷土愛を育む成果となっていると思われる。</p> <p>⑩の項目については、評価者が総じて高い評価をしており、学校便りやHP等を活用しての情報発信が認知されている結果だと思われる。今後も、日南市の広報課へ情報提供を行う等、メディアを活用した情報発信も積極的に行っていきたい。</p>	<p>学校便りのおかげで、本校の教育活動の様子を分かりやすく知ることができている。</p> <p>中学校区内のPTAの交流が滞り気味なことが気掛かりである。子どもたちや教師間の交流は継続しているようなので、今後はPTAの交流を復活させ地域全体で子どもたちを教育する機運を高めていってほしい。</p>
	⑩	学校は、HP・安心メールや学校便り・学級通信等を活用しながら、情報発信に努めている。	3.6	3.4	3.6	3.5			